

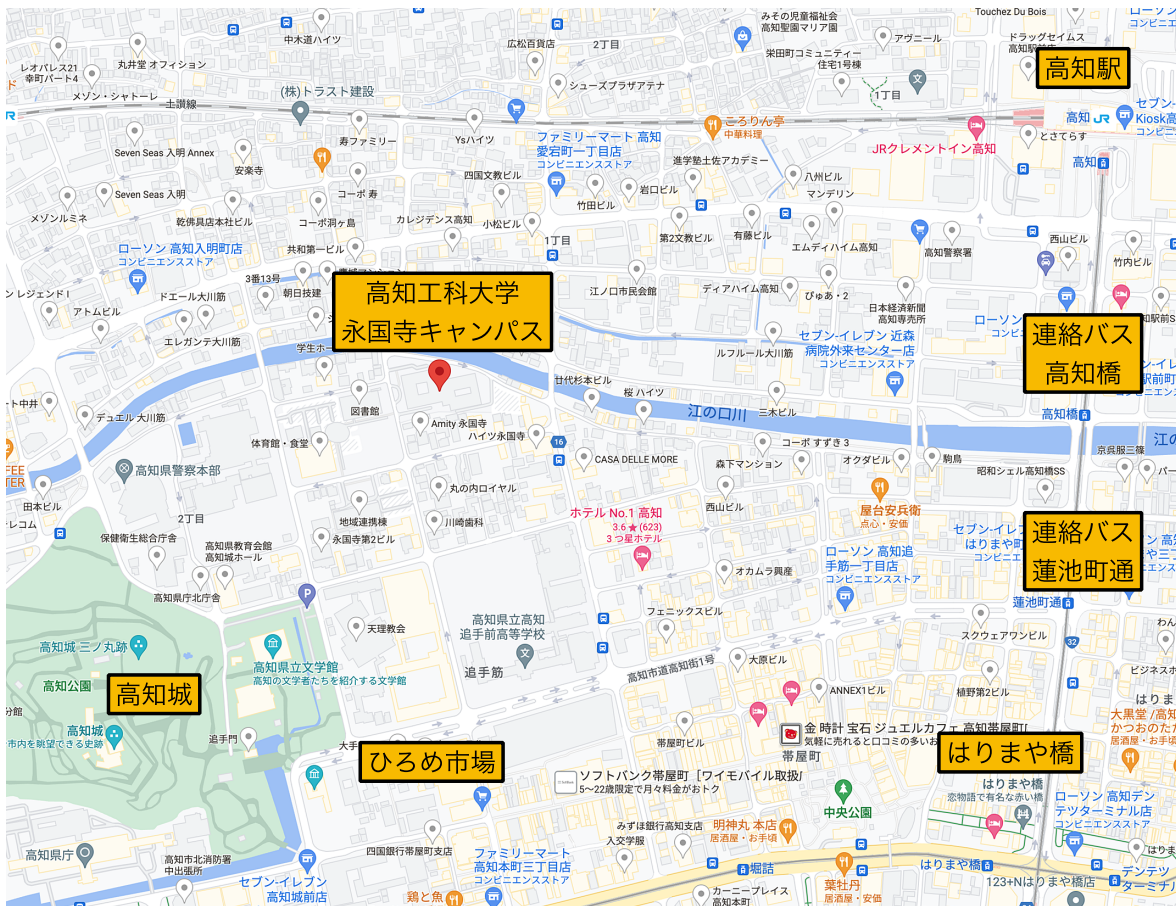
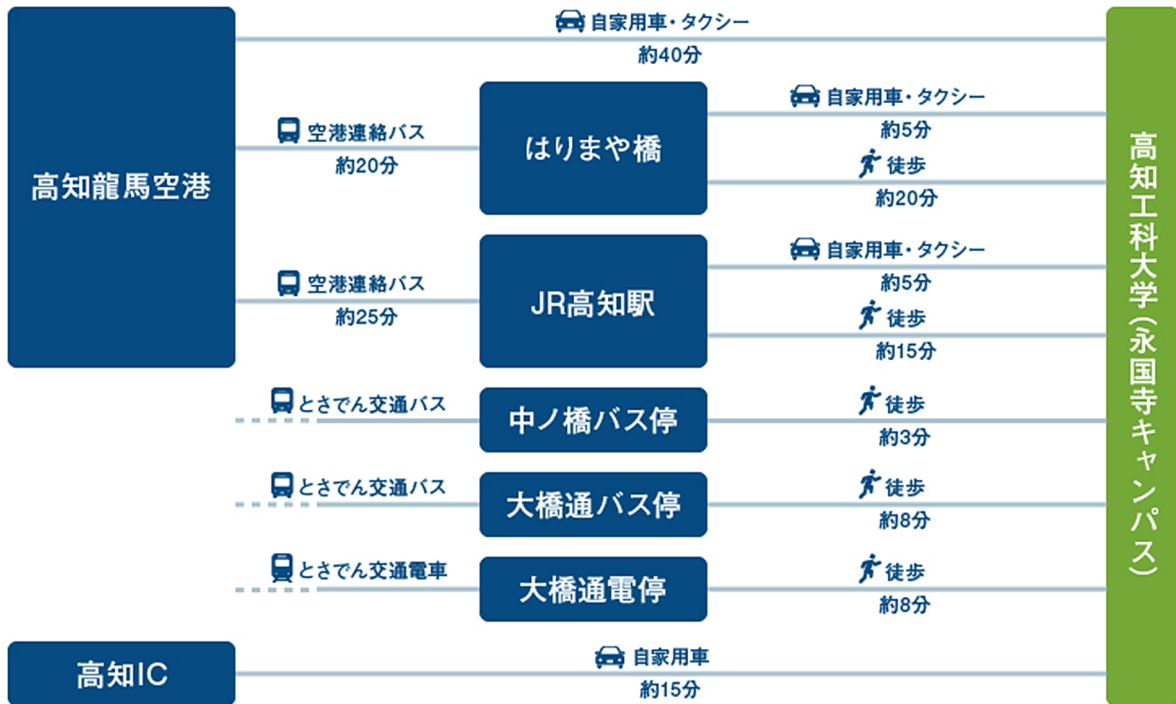
日本グループ・ダイナミックス学会
第 69 回大会発表論文集

高知工科大学

2023 年 9 月 23 日 (土)・9 月 24 日 (日)

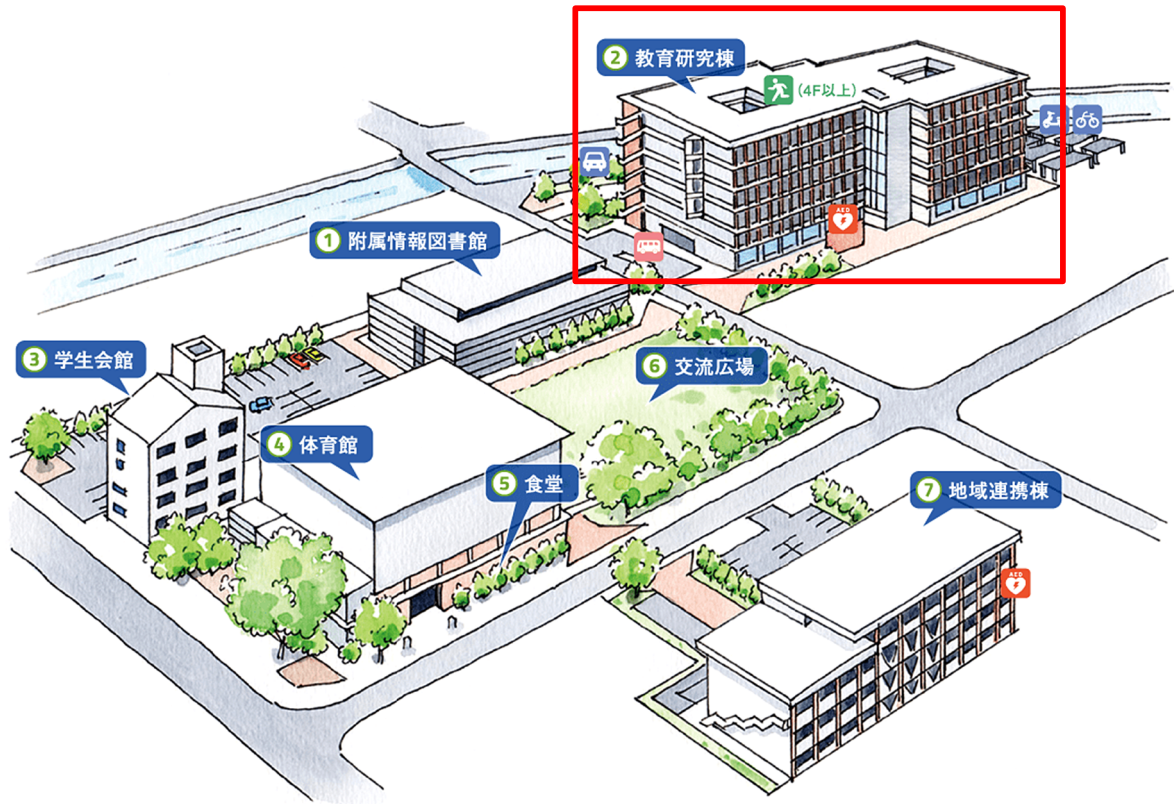
大会会場への交通のご案内

高知工科大学永国寺キャンパス 交通案内

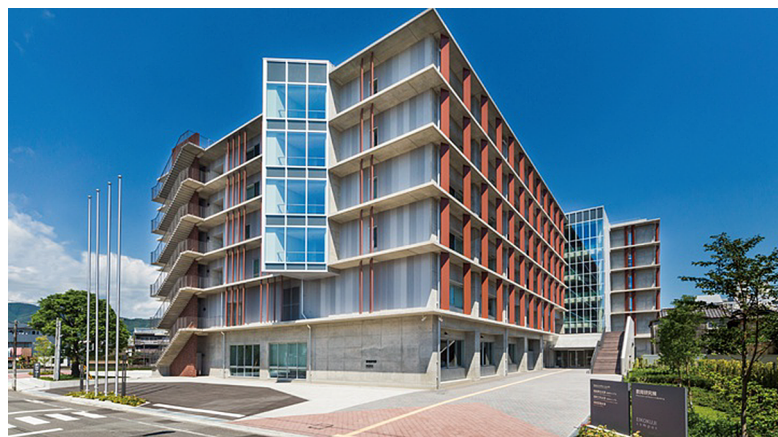


キャンパス配置図

高知工科大学永国寺キャンパス 〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号

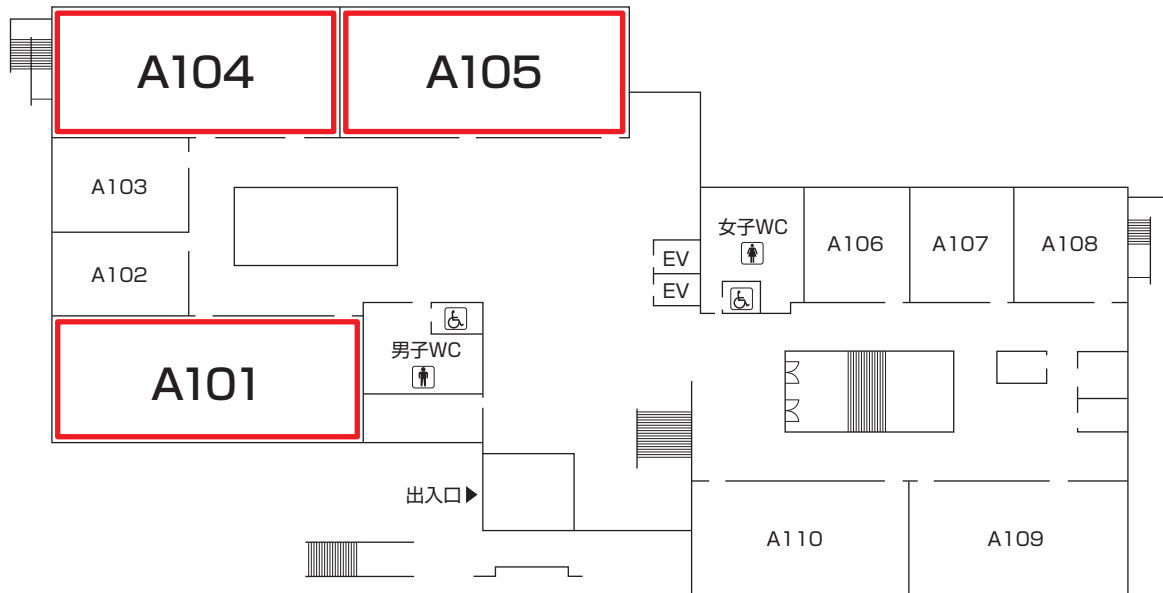


- シャトルバス乗降場
- 来客用駐車場
- バイク置き場
- 自転車置き場
- AED設置
- 避難場所

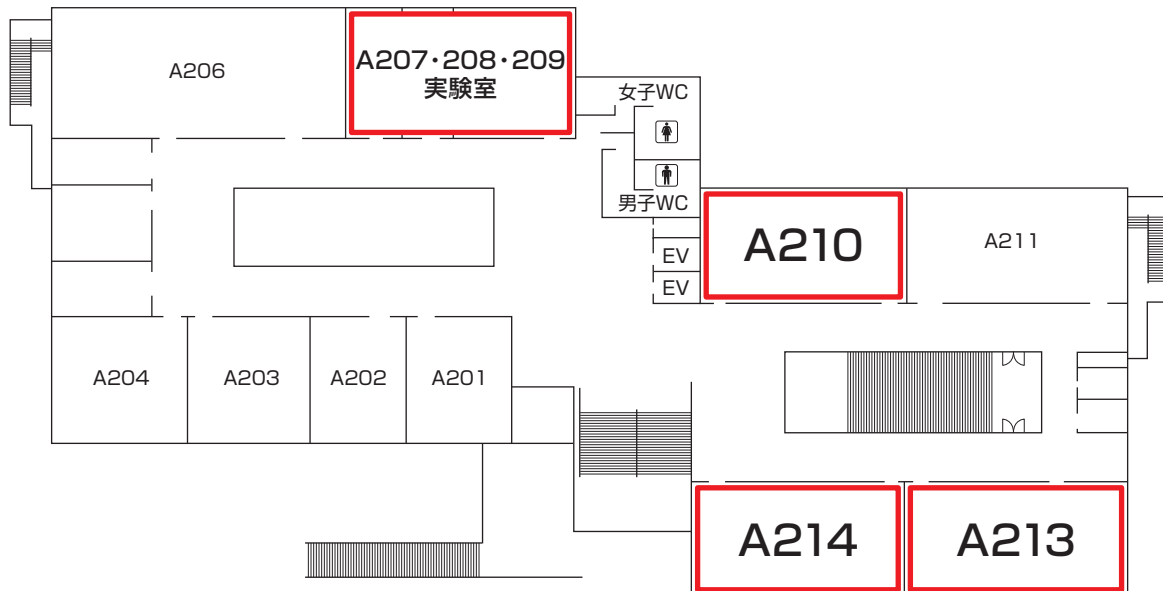


会場平面図

教育研究棟 1F



教育研究棟 2F



受付	教育研究棟 1階	エントランス
総会会場	教育研究棟 1階	A101 教室
特別講演	教育研究棟 1階	A101 教室
口頭発表・ワークショップ会場	教育研究棟 1階	A101、A104、A105 教室
ポスター発表会場	教育研究棟 2階	A213、A214 教室
休憩	教育研究棟 2階	A210 教室
懇親会会場	生協	

懇親会のご案内

懇親会を下記の要領で開催いたします。キャパシティいっぱいの方の予約をいただいたため、予約登録をした方のみが参加できます。当日の参加はご遠慮ください。

日時

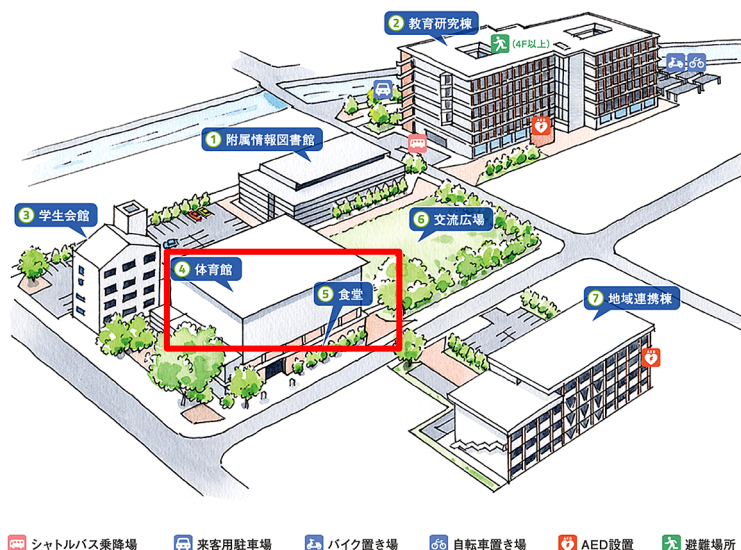
9月23日（大会1日目）
18時30分～20時30分

会場

高知工科大学永国寺キャンパス
生協（体育館1階の食堂）

懇親会費（予約のみ）

一般 5,000円
院生・学部学生 3,000円

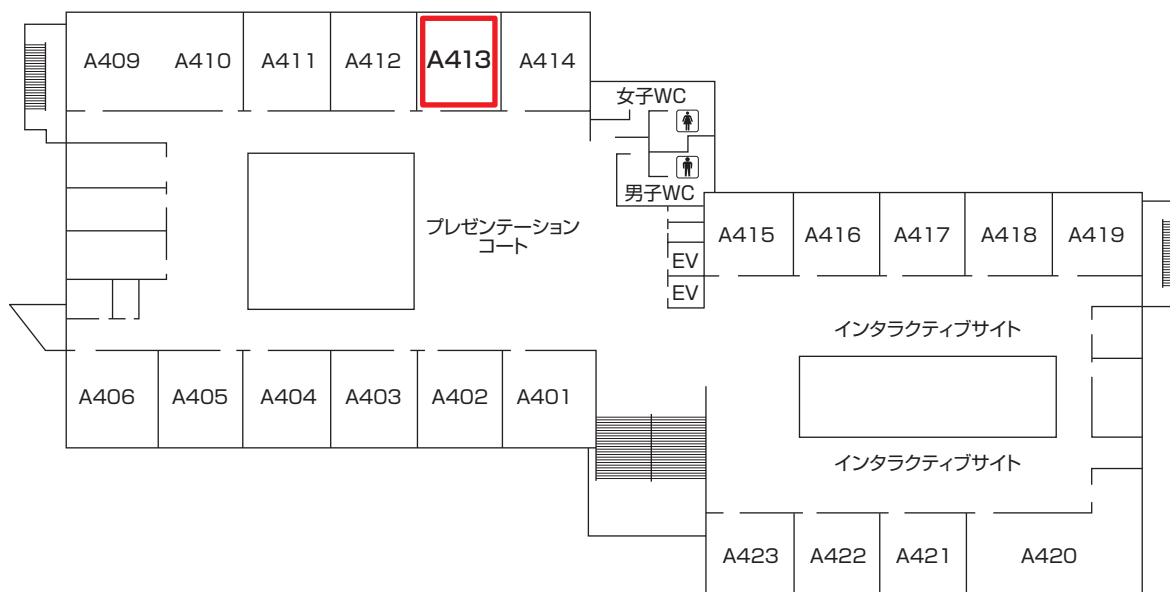


大会前日の各種委員会のご案内

大会前日（9月22日）に以下の委員会が開催されます。それぞれの会議の開始時刻よりも早めにお越しになった場合、当該の教室（下記の会場平面図をご参照ください）でお待ちいただくことが可能です。

13:30～15:00	常任理事会・常任編集委員会	教育研究棟4階 A413教室
15:30～18:00	理事会・編集委員会	教育研究棟4階 A413教室

教育研究棟 4F



大会参加者へのご案内

■ 受付

大会1日目（9月23日）、2日目（9月24日）ともに9時00分より高知工科大学永国寺キャンパス教育研究棟1階エントランスにて受付を行います。大会期間中、会場内では受付でお渡しする参加証（名札）を必ず付けてください。

■ 諸費用

大会参加費（当日）	正会員（一般）	6,000 円
大会参加費（当日）	正会員（大学院生）	5,000 円
大会参加費（当日）	非会員（一般・大学院生）	6,000 円
大会参加費（当日）	非会員（学部学生）	2,000 円
懇親会費（予約参加者のみ）	一般	5,000 円
	大学院生・学部学生	3,000 円

■ 総会

大会1日目に12時から13時30分まで、教育研究棟1階A101教室で開催いたします。

■ 昼食

大会1日目は総会会場にてお弁当をご用意いたします。大会2日目はお弁当の用意はありません。生協や学食も開いてないため、近隣の飲食店やコンビニなどをご利用ください。

■ 懇親会

大会1日目18時30分より、高知工科大学永国寺キャンパス生協（体育館1階、食堂）にて開催いたします。参加は予約した方のみでお願いします。

■ 休憩

休憩室は教育研究棟2階A210教室となっております。なお、建物内は禁煙です。

■ 実験室見学

高知工科大学永国寺キャンパスにある実験室をご案内いたします。2日目13時頃に、教育研究棟2階A207・208・209教室の付近にご集合ください。

■ 会場内の設備

Eduroamが使用可能です。また、外来者向けのwifiを利用していただけるようにする予定です。利用方法は当日お知らせいたします。

■ 託児所

学内の教室を使い、出張の託児所を設ける予定です。ご希望の方は9月7日までに大会準備委員会までご連絡ください。

研究発表者へのご案内

■ 口頭発表

ロングスピーチ

発表時間は30分です。発表後、座長の司会のもとで10分の質疑・討論を行います。開始25分に1鈴、30分後に2鈴、40分後に3鈴です。全ての発表が終了した後、引き続いて10分の全体討議を行います。

ショートスピーチ・English Session

発表時間は12分です。発表後、座長の司会のもとで3分の質疑・討論を行います。開始10分に1鈴、12分後に2鈴、15分後に3鈴です。全ての発表が終了した後、引き続いて座長の司会のもとで15分の全体討議を行います。

■ 発表用機材・配布資料

各会場にパソコン（Windows11、Office）とプロジェクターが設置されています。セッション前に各自でスライドのファイルをパソコンにコピーして動作確認を行い、セッション後にデータを削除してください。データはUSBメモリーでご持参ください。持ち込みのパソコンをご利用されたい場合は、事前に会場係までご相談ください。資料の配布を希望される場合、あらかじめ不足のないよう十分な部数をご用意の上、セッション開始前に各発表会場の会場係にお渡しください。レーザーポインターは用意しておりませんので、ご利用の場合は各自持参してください。

■ ポスター発表

発表者はセッション開始10分前までにポスター会場にお越しいただき、発表会場の指定されたボードにポスターを掲示してください。発表番号が奇数の方は前半1時間、偶数の方は後半1時間が在席責任時間です。この間は必ずポスター前に在席してください。

掲示スペースは、発表1件につき幅90センチ高さ120センチです（ボード部分）。ボードの最上段に「題目・氏名・所属」を明示してください。画鋲は会場に用意されています。

■ 発表成立要件

研究発表は、論文集に論文を掲載するとともに、口頭発表は発表と討論への参加、ポスター発表は在席時間を満たすことによって正式発表とみなされます。

■ 発表の取り消し

口頭発表者あるいはポスター発表者が欠席した場合には、発表取り消しとみなされます。発表者が欠席する場合はお早めに大会準備委員会までご連絡ください。連名発表者がいる場合には、事前に大会準備委員会の許諾が得られれば連名発表者に限り代理発表を行うことができます。

■ 優秀学会発表賞

大会における発表の中から優れたものを選考し、発表部門ごとに優秀学会発表賞を授与しています。対象者は、大学院在学中の方または大学院修了（退学）後5年以内の方です。なお、学会規定により、学部学生は対象外となります。

大会タイムスケジュール

大会前日(9月22日 金曜日)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
A413教室						常任理事会・ 常任編集委員会		理事会・ 編集委員会				

大会1日目(9月23日 土曜日)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
A101教室		ショート スピーチ1 社会的感情		総会		ショート スピーチ3 協力		大会準備委員会企画 シンポジウム			懇親会	
A104教室		English Session				ロング スピーチ1						
A105教室		ショート スピーチ2 地域				ショート スピーチ4 災害						
A213・214教室						ポスター1						
A210教室		休憩										

大会2日目(9月24日 日曜日)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
A101教室				大会準備 委員会企画 特別講演		ワークショップ コラボクエスト						
A104教室		ショート スピーチ5 組織・環境				ロング スピーチ2						
A105教室		ショート スピーチ6 援助				ショート スピーチ7 社会的認知						
A213・214教室		ポスター2										
A210教室		休憩										
A207・208・209 実験室					見学							

プログラム | 日本グループ・ダイナミックス学会 第69回大会

大会準備委員会企画特別講演 (9)

大会準備委員会企画シンポジウム (10)

ワークショップ コラボリクエスト (11)

ロングスピーチ (12)

ショートスピーチ (13)

English Session (20)

ポスター (21)

大会準備委員会企画特別講演

SP 11:30～12:30

社会科学の中のグループ・ダイナミックス

共感・分配・規範をめぐる一考察 1

講演者	東京大学	亀田 達也
司会	高知工科大学	三船 恒裕

大会準備委員会企画シンポジウム

SY 16:00～18:00

同調現象解明に向けた学際的アプローチ 2

企画者	日本グループ・ダイナミクス学会第 69 回大会準備委員会	
司会	高知工科大学	三船 恒裕
話題提供者	一橋大学	鈴木 真介
話題提供者	高知工科大学	出馬 圭世
話題提供者	University of Konstanz, 理化学研究所	豊川 航

ワークショップ コラボリクエスト

座長：石井 敬子

WS 13:45～15:45

コラボ・リクエストのこれまでとこれから: コラボにいたる路を知る 3

企画者	日本グループ・ダイナミックス学会常任理事会	
話題提供者	株式会社 HR ビジョン クリエイティブ編集課	長谷波 慶彦
話題提供者	株式会社リバネス 教育総合研究センター	前田 里美
話題提供者	東京女子大学	正木 郁太郎
話題提供者	立命館大学	鈴木 啓太
司 会	名古屋大学	石井 敬子

ロングスピーチ 1

座長：ターン 有加里ジェシカ・若井 大成

L1-1 14:00～14:40

能力差のある集団内でのタスク分担：ボランティアのジレンマを用いた検討 …………… 4

東京大学, 日本学術振興会
東京大学
東洋大学
東京大学

○ターン 有加里ジェシカ
大坪 庸介
橋本 剛明
唐沢 かおり

L1-2 14:40～15:20

認知モデリングによる中村・三浦（2019）の事前登録済み二次分析

—説得による態度変容プロセスの検討— …………… 8

東京大学, 日本学術振興会
東京大学

○若井 大成
岡田 謙介

ロングスピーチ 2

座長：ハッ塚 一郎・頼政 良太

L2-1 13:45～14:25

「いじめ」の論理構造に関する試論：現象と言説の混乱からの考察 …………… 12

熊本大学

○ハッ塚 一郎

L2-2 14:25～15:05

ノマドボランティアの可能性 …………… 16

関西学院大学人間福祉学部社会起業学科

○頼政 良太

ショートスピーチ 1 社会的感情

座長：田中 知恵・中井 彩香

S1-1	10:00～10:15	感情共有が関係構築と感情表出に及ぼす影響	20
		明治学院大学心理学部	○田中 知恵
		淑徳大学総合福祉学部	小森 めぐみ
S1-2	10:15～10:30	選択式問題における後悔と学習成績との関連	22
		東京大学	○隅田 莉央
		広島大学	小宮 あすか
S1-3	10:30～10:45	Basic Needs の素朴概念における文化間比較	24
		東京大学大学院	○苫米地 飛
		グラーツ大学	Thomas Pözlner
		東京大学大学院	鈴木 貴之
S1-4	10:45～11:00	自分に対するネガティブ感情はやる気に繋がるか — 妬みのサブタイプ理論に基づく感情と動機の媒介効果の検証 —	26
		東京都立大学人文科学研究科	○中井 彩香
		東京都立大学人文科学研究科	沼崎 誠
S1-5	11:00～11:15	大学生の孤独感に影響を及ぼす要因の総合的考察	28
		広島大学	○戸谷 彰宏
		広島大学	李 受珉
		西九州大学短期大学部	清水 陽香
		広島大学	安部 主晃
		富山大学	重松 潤
		広島大学	張 清源
		同志社大学	神原 広平
		広島文教大学	阿部 夏希
		中部大学	早瀬 良
		近畿大学	杉浦 仁美
		京都大学	阿部 修士
		京都大学	中井 隆介
		神戸大学	柳澤 邦昭
		広島大学	中島 健一郎

ショートスピーチ2 地域

座長：永田 素彦・相馬 敏彦

S2-1 10:00～10:15

祭り運営への参加はソーシャル・キャピタルの醸成にどう関連するか？

—地域内居住者と地域外居住者の違いに着目して— 30

広島大学

○相馬 敏彦

S2-2 10:15～10:30

軽トラ市の視察が主催団体にもたらす意味についての考察 32

大阪大学大学院人間科学研究科

○内山 志保

S2-3 10:30～10:45

福島県富岡町における移住者の役割と復興への影響 34

大阪大学人間科学研究科

○楊 凌煙

大阪大学人間科学研究科

宮本 匠

S2-4 10:45～11:00

場にたいする信頼—不要不急が照らすコミュニティカフェの意味 36

法政大学

○土倉 英志

S2-5 11:00～11:15

地域づくりにおける新しい協同的主体 38

京都大学大学院人間・環境学研究科

○永田 素彦

ショートスピーチ3 協力

座長：館石 和香葉・森 隆太郎

S3-1 14:00～14:15

集団を越えた相互作用の社会差－機会コストへの反応の検討－ 40

北海道大学	○館石 和香葉
北海道大学	糸瀬 日菜
北海道大学	水鳥 翔伍
University of Guelph	Pat Barclay
北海道大学	高橋 伸幸

S3-2 14:15～14:30

献血意図と経済的インセンティブの関連 42

大阪公立大学	○小林 右京
京都文教大学	山本 佳佑
立教大学	前田 楓
久留米大学	佐藤 剛介
大阪公立大学	橋本 博文

S3-3 14:30～14:45

情報の信頼性を操作した、間接互惠性状況における情報伝達バイアスの検討 44

北海道大学大学院文学院	○川村 樹
北海道医療大学	真島 理恵
北海道大学大学院文学院	高橋 伸幸

S3-4 14:45～15:00

囚人のジレンマゲームで「先んじて協力を示すこと」の意味とためらい 46

大阪公立大学	○永延 佳那子
立教大学	前田 楓
大正大学	谷田 林士
大阪公立大学	橋本 博文

S3-5 15:00～15:15

リアルタイムな協働における能動的な協力行動と返報 48

東京大学, 日本学術振興会	○森 隆太郎
東京大学, 日本学術振興会	高橋 茉優
大阪大学	花木 伸行
東京大学	亀田 達也

ショートスピーチ4 災害

座長：宮本 匠・前田 楓

S4-1 14:00～14:15

「情報の共有性」は人々の防災意図や防災行動を促すか 50

立教大学現代心理学部心理学科

○前田 楓

S4-2 14:15～14:30

東日本大震災を契機とした被災地域の規範の変化について－岩手県野田村を事例に－ 52

京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程

○木野村 隆宏

京都大学大学院人間・環境学研究科

永田 素彦

S4-3 14:30～14:45

東日本大震災に関する集合的記憶と震災遺構の相互影響関係の分析 54

京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程

○坪井 祐樹

京都大学大学院人間・環境学研究科

永田 素彦

S4-4 14:45～15:00

「弱さ」の力に注目した防災コミュニティの分析 56

九州大学大学院人間環境学研究院

○杉山 高志

京都大学防災研究所

矢守 克也

S4-5 15:00～15:15

災間社会の災害復興の展望について 58

大阪大学大学院人間科学研究科

○宮本 匠

大阪大学大学院人間科学研究科

内山 志保

ショートスピーチ5 組織・環境

座長：柿本 敏克・尾崎 由佳

S5-1 9:30～9:45

就労場面における目標プライミングの実践的応用：

望ましい組織行動を促進する経験サンプリング介入研究 60

東洋大学

○尾崎 由佳

株式会社らんな

松田 大学

S5-2 9:45～10:00

説得することと説得されることの効果：説得納得ゲームにおける検討 62

奈良女子大学

○安藤 香織

慶應義塾大学

杉浦 淳吉

S5-3 10:00～10:15

バーチャリティの程度は会議における心理的安全性とボイス行動にどのような影響を与えるか? 64

九州大学大学院人間環境学府

○田中 理菜

九州大学大学院人間環境学府

池田 浩

九州大学大学院人間環境学府

山口 裕幸

S5-4 10:15～10:30

理想について考えること、義務について考えることが環境配慮行動に与える影響 66

群馬大学

○柿本 敏克

群馬大学

細野 文雄

S5-5 10:30～10:45

事例研究における事例の選択について 68

東北大学大学院文学研究科

○辻本 昌弘

ショートスピーチ6 援助

座長：佐藤 剛介・西村 太志

S6-1 9:30～9:45

ヘルプマーク利用者に対する人々の援助行動：

障害当事者による電車内フィールドワーク実験 70

久留米大学

○佐藤 剛介

立教大学

前田 楓

大阪公立大学

橋本 博文

S6-2 9:45～10:00

「自分ひとりだけでも『教員間いじめ』に対応した方が良い」という態度は

「いじめ」発生の認知を阻害するのか？ 72

奈良国立大学機構奈良教育大学

○出口 拓彦

S6-3 10:00～10:15

思いやり目標をもつ人ほどお節介を焼きたがるのか 74

法政大学

○新谷 優

S6-4 10:15～10:30

婚活ボランティア参加に関する検討

—ボランティア参加動機と活動理論に基づくボランティア参加の肯定的効果— 76

広島国際大学

○西村 太志

広島大学

相馬 敏彦

明治学院大学

鬼頭 美江

S6-5 10:30～10:45

災害ボランティアとはずれた実践の可能性 78

福知山公立大学地域経営学部, デラウェア大学災害研究センター

○大門 大朗

ショートスピーチ7 社会的認知

座長：谷辺 哲史・米谷 充史

S7-1 13:45～14:00

社会的受容・脅威に関わる神経表象

—マルチボクセルパターン解析による検討— 80

神戸大学

○米谷 充史

京都大学

中井 隆介

無所属

八田 紘和

近畿大学

杉浦 仁美

京都大学

阿部 修士

神戸大学

柳澤 邦昭

S7-2 14:00～14:15

誤情報を信じないために：熟慮による真実性の錯誤効果の低減 82

東京大学大学院人文社会系研究科

○福山 秀平

東京大学大学院人文社会系研究科

唐沢 かおり

S7-3 14:15～14:30

リスク傾向が適応度に与える影響の性別による調整効果 84

東京大学大学院人文社会系研究科

○坂本 遼太郎

東京大学大学院人文社会系研究科

大坪 庸介

S7-4 14:30～14:45

規範が競合する場面での人工知能の判断に対する市民の期待 86

早稲田大学

○谷辺 哲史

S7-5 14:45～15:00

DVを振るうナルシシストは非人間化されにくいのか？

—親密な関係における非人間化の理解— 88

広島大学人間社会科学研究科

○黄 瑤

広島大学人間社会科学研究科

相馬 敏彦

S7-6 15:00～15:15

オンライン調査における Careless Responding の抑制

—調査実施者の非人間化の抑制を通じたキャラクターの効果の検討— 90

名古屋大学教育学部

○山田 怜生

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

五十嵐 祐

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

光永 悠彦

English Session

座長：山田 順子・奥山 智天

E1-1 10:00～10:15

Why Do Japanese People Continue to Wear Masks?:

From the Perspectives of Pluralistic Ignorance 92

Graduate School of Social Sciences, Hitotsubashi University

○Tomotaka Okuyama

Graduate School of Social Sciences, Hitotsubashi University

Yuri Miyamoto

E1-2 10:15～10:30

Is intuitive and emotional judgment as a System 1 related to one's approval of

the Kagawa Prefectural Ordinance? 94

Osaka Metropolitan University

○Kento Miyamoto

Osaka Metropolitan University

Hirofumi Hashimoto

E1-3 10:30～10:45

Have the Use and Impressions of Online Dating Changed in Japan across Time? 96

Rissho University

○Junko Yamada

Meiji Gakuin University

Mie Kito

Kyushu University

Kazuya Iwata

E1-4 10:45～11:00

Psychological unwillingness to assume responsibility in the trolley problem and

the Japanese tendency toward rejection avoidance 98

Osaka Metropolitan University

○Haruto Hoke

Rikkyo University

Kaede Maeda

Osaka Metropolitan University

Hirofumi Hashimoto

E1-5 11:00～11:15

The Temporal Influences of Cultural Values on COVID-19 Vaccination Intention among Japanese 100

Nagoya University

○Keiko Ishii

ポスター 1

P1-1 13:45～14:45

人々が思うより高齢者は健康である：態度変容に向けた事前登録実験 …………… 102

東京大学, 日本学術振興会

SOMPO ホールディングス株式会社

合同会社 SAT 研究所

合同会社 SAT 研究所

○清水 佑輔

鈴木 雅

畠 由佳子

榊 敏朗

P1-2 14:45～15:45

対人目標と夫婦関係における 真正・非真正の自己表現との関連性 …………… 104

追手門学院大学

帝塚山大学

○宮川 裕基

谷口 淳一

P1-3 13:45～14:45

対人ストレスの地域差の探索的検討 …………… 106

静岡大学

○橋本 剛

P1-4 14:45～15:45

親ガチャ信念をもたらす個人差要因に対する探索的な研究 …………… 108

大阪大学人間科学研究科

大阪大学人間科学研究科

○趙 心語

綿村 英一郎

P1-5 13:45～14:45

学級内地位認知におけるフォールスコンセンサス効果 …………… 110

鹿児島大学

同志社大学

京都外国語大学

○有倉 巳幸

神山 貴弥

稲垣 勉

P1-6 14:45～15:45

公平性の幻想のメカニズムの検討 …………… 112

広島大学大学院人間社会科学研究科

広島大学大学院人間社会科学研究科

○塩治 玲奈

坂田 桐子

P1-7 13:45～14:45

同性愛者に対する受容感の検討

—システム正当化の観点から— …………… 114

広島大学大学院人間社会科学研究科

広島大学大学院人間社会科学研究科

○後藤 華乃

坂田 桐子

P1-8 14:45～15:45

学校と地域の協働における地域住民の教育への参加動機に関する検討 …………… 116

京都大学

京都大学

○奥田 麻依子

内田 由紀子

P1-9	13:45~14:45	美人ステレオタイプと逆美人ステレオタイプはどちらが強いのか？	118
		聖徳大学心理学科	○山岡 重行
P1-10	14:45~15:45	優柔不断と時間制限(1)：悩めないと不満が溜まる	120
		杏林大学	○三浦 大志
		杏林大学	斎藤 聖子
P1-11	13:45~14:45	メタステレオタイプと性役割態度が同性愛者に対する態度に及ぼす影響(2)	122
		東京女子大学人間科学研究科	○竹原 菜々子
		駒澤大学	長谷川 孝治
		東京女子大学	工藤 恵理子
P1-12	14:45~15:45	スマートフォン依存と現実逃避傾向の関連	124
		中部大学 現代教育学部	○三島 浩路
P1-13	13:45~14:45	肯定事象の生起確率判断に無関連な肯定的行動が及ぼす影響(2)	
		徳積みと罰当たりの区分と公正世界信念の影響	126
		昭和女子大学人間社会学部	○藤島 喜嗣
		昭和女子大学人間社会学部	猪飼 こゆき
		昭和女子大学人間社会学部	今尾 春香
		昭和女子大学人間社会学部	尾前 里々花
		昭和女子大学人間社会学部	藤原 鞠花
		昭和女子大学人間社会学部	村山 美樹
		昭和女子大学人間社会学部	恵 結希乃
P1-14	14:45~15:45	日本におけるSDOと保守的な政治的態度の関連：三船・横田(2018)の直接的追試を通して	128
		高知工科大学, 東京大学大学院	○高橋 龍
		高知工科大学	今田 大貴
		高知工科大学	三船 恒裕
P1-15	13:45~14:45	テレワーク環境が若年就労者の自発的行動に及ぼす影響	130
		広島大学大学院人間科学研究科	○北野 佳苗
		広島大学大学院人間科学研究科	坂田 桐子
P1-16	14:45~15:45	職場の非礼における社会的機能が離職の意図へ及ぼす影響	132
		広島大学	○宮崎 美保
		広島大学	相馬 敏彦

P1-17	13:45～14:45		
		親密な関係における相互作用と感情に対する愛着傾向の調整効果	
		Dynamic APIM モデルを用いて	134
		広島大学人間社会科学研究科	○謝 新宇
		広島大学人間社会科学研究科	相馬 敏彦
		弘前大学人文社会科学部	古村 健太郎
		追手門学院大学心理学研究科	金政 祐司
P1-18	14:45～15:45		
		Big Five の「自己評価」と「社会的望ましさの認知」、「個人的望ましさ」	136
		名古屋大学大学院教育発達科学研究科	○上田 皐介
		名古屋大学大学院教育発達科学研究科	山形 伸二
P1-19	13:45～14:45		
		職場における援助提供と罪悪感回避	138
		一橋大学森有礼高等教育国際流動化機構	○Claudia Gherghel
P1-20	14:45～15:45		
		労働組合における女性活躍推進に向けた取り組みの効果	140
		(公社) 国際経済労働研究所	○鈴木 文子
		(公社) 国際経済労働研究所	向井 有理子
P1-21	13:45～14:45		
		社会問題、ボランティア活動への関心と援助規範意識との関連	142
		東洋大学	○北村 英哉
P1-22	14:45～15:45		
		階層上位者は階層再生産情報に対して人生苦難を強調するのか	144
		東洋大学	○柿本 航哉
		東洋大学	北村 英哉
P1-23	13:45～14:45		
		両親の養育行動と中学生の子どもの抑うつとの関連	
		—養育行動の交互作用に着目した検討—	146
		西九州大学短期大学部	○清水 陽香
		広島大学, 日本学術振興会特別研究員 DC1	西村 由貴子
		広島大学	中島 健一郎

ポスター 2

P2-1 9:15～10:15

- 自己紹介場面での緊張と透明性の錯覚：オンラインでの検討 148
 成城大学 ○村田 光二

P2-2 10:15～11:15

- 日本語版道徳基盤尺度得点と政治的態度の関連 150
 奈良大学 ○村上 史朗
 青森大学 澁谷 泰秀
 慶應義塾大学 増田 真也
 奈良大学 吉村 治正

P2-3 9:15～10:15

- 教師のフィードバックが学生のモチベーションに及ぼす影響
 ——成績不振状況の解釈に着目して—— 152
 東洋大学大学院 ○コウ ビヨウ
 東洋大学 尾崎 由佳

P2-4 10:15～11:15

- 奄美大島の民話における道徳的示唆と多様性への社会生態学的検討 154
 中部大学人文学部 ○坂本 剛

P2-5 9:15～10:15

- 居心地の良さは関係性によって変化するのか？
 ——親密化段階ごとの二者関係場面分類と相互依存性の観点から—— 156
 専修大学大学院文学研究科 ○吉田 光成
 元専修大学人間科学部 大谷 萌絵
 専修大学人間科学部 下斗米 淳

P2-6 10:15～11:15

- 暗黙理論が努力のサンクコスト効果に与える影響 158
 立命館大学 総合心理学部 ○鈴木 啓太
 東京大学大学院 人文社会系研究科 村本 由紀子

P2-7 9:15～10:15

- 性別が管理職としての評価に与える影響
 リーダーシップ行動の2次元からの検討 160
 東京大学大学院人文社会系研究科 ○馬目 蓉子
 東京大学大学院人文社会系研究科 唐沢 かおり

P2-8	10:15～11:15	日米歌詞における Mixed emotion の文化比較研究	162
		一橋大学社会学部	○増井 拓紀
		一橋大学社会学研究科	宮本 百合
P2-9	9:15～10:15	分析的-包括的思考様式と内在的公正推論	164
		近畿大学国際学部	○村山 綾
P2-10	10:15～11:15	チームの振り返りで促進される暗黙の協調：Tetris を用いた協調課題による概念的追試	166
		大阪大学	○秋保 亮太
P2-11	9:15～10:15	好奇心と見知らぬ他者についての情報探索行動に関する実験的検討	168
		名古屋大学大学院教育発達科学研究科	○足立 吉規
		名古屋大学大学院教育発達科学研究科	五十嵐 祐
P2-12	10:15～11:15	集団人数と間接互惠行動 —評価懸念に着目した検討—	170
		名古屋大学教育学部人間発達科学科	○原田 瑞穂
		名古屋大学教育学部人間発達科学科, 名古屋大学大学院教育発達科学研究科	五十嵐 祐
P2-13	9:15～10:15	Instagram 利用動機尺度の作成	172
		京都外国語大学	○稲垣 勉
P2-14	10:15～11:15	自動運転車に対する心の知覚と怒り	174
		東京大学大学院人文社会系研究科	○佐藤 みちる
		金沢大学人間社会研究域人文学系	荒木 友希子
P2-15	9:15～10:15	両親の自尊感情が子どもの抑うつ・自律性・キャリア意識に与える影響 —養育行動の媒介効果に着目して—	176
		日本学術振興会特別研究員 (DC1), 広島大学	○西村 由貴子
		西九州大学短期大学部	清水 陽香
		広島大学	中島 健一郎
P2-16	10:15～11:15	地域のしがらみ —何がしがらみを感じさせ、その何が居住継続意図を低めるのか—	178
		信州大学人文学部	○岡本 卓也

P2-17	9:15~10:15	自虐広告がブランド評価・広告態度に及ぼす影響	180
		千葉大学・大学院人文科学研究院	○磯部 智加衣
P2-18	10:15~11:15	異質な信念に対する寛容の判断に影響を及ぼす要因の検討	182
		東洋大学大学院	○大川 明李
		東洋大学	北村 英哉
P2-19	9:15~10:15	呼称で調整される恋愛関係の境界	184
		弘前大学	○古村 健太郎
P2-20	10:15~11:15	組織文化の認知パターンと失敗と成功からの学習の関連性	186
		福岡女学院大学	○藤村 まこと
		岡山大学	三沢 良
		駒澤大学	日野 健太
P2-21	9:15~10:15	日本語版真正・非真正自己表現尺度 (AIES-J) の開発	188
		帝塚山大学	○谷口 淳一
		追手門学院大学	宮川 裕基
P2-22	10:15~11:15	どのような場合に、特別配慮における不公平感は緩和されるか —必要性原理に基づく公正の判断—	190
		広島大学	○張 梓源
		広島大学	相馬 敏彦
P2-23	9:15~10:15	共有知識は相互協調と相互協力を促進するか	192
		名古屋大学情報学研究科	○李 楊
P2-24	10:15~11:15	日本人女性における不安モデルの文化心理学的検討 —月経周期と不安傾向の関連から—	194
		東京女子大学	○唐澤 真弓
		(株)YOLO JAPAN	山家 茉莉奈
		国立精神・神経医療研究センター	由井 日奈子

日本グループ・ダイナミックス学会第 69 回大会
協賛団体ご芳名

株式会社 北大路書房

(敬称略 五十音順)

本大会を開催するにあたり、上記団体様より多大なご支援をいただきました。
ここにご芳名を記して、心から感謝の意を表します。

2023 年 8 月
日本グループ・ダイナミックス学会第 69 回大会
大会準備委員長・事務局長 三船 恒裕

日本グループ・ダイナミクス学会
第 69 回大会準備委員会

委員長・事務局長

三 船 恒 裕 (高知工科大学)

委 員

日 道 俊 之 (高知工科大学)

日本グループ・ダイナミクス学会
第 69 回大会発表論文集

発行日 2023 年 8 月
発行者 日本グループ・ダイナミクス学会第 69 回大会準備委員会
〒780-8515 高知県高知市永国寺町 2 番 22 号
高知工科大学経済・マネジメント学群 三船 恒裕
E-mail: jgda.69th@gmail.com

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎075-431-0361 FAX 075-431-9393

<https://www.kitaohji.com>(価格税込)

〈よそおい〉の心理学

—サバイブ技法としての身体装飾— 荒川 歩, 鈴木公啓, 木戸彩恵編著 A5・280頁・定価3740円 なぜ、私たちは今日も〈よそおい〉続けるのか? 普段の役割を降りるツール、自他の関係調整ツール、ジェンダーワークといった心理的社会的機能の観点から、衣服、化粧、ピアッシングなどの身体装飾の行為を考察。

装いの心理学

—整え飾るころと行動— 鈴木公啓編著 A5・304頁・定価2970円 身体装飾・変工の心理に関する入門書。第1部では、化粧、衣服、ピアス、いれずみ、美容整形、瘦身等の装いがどのような意味・意義を有するのか、バランスよく解説。第2部では、コスプレや化粧療法等、関連テーマを紹介。

パーソナリティのHファクター

—自己中心的で、欺瞞的で、貪欲な人たち— K. リー, M. C. アシュトン著 小塩真司監訳 四六・208頁・定価2640円 自分を利するために計算高く他人を操る、特別な地位や権利を得るに値すると自惚れている…… Hファクターの低い人々。パーソナリティのHEXACOモデルを提案した心理学者たちが、彼らに特徴的な性格傾向や行動様式を解説する。

「隠す」心理を科学する

—一人の嘘から動物のあざむきまで— 太幡直也, 佐藤拓, 菊地史倫編著 A5・272頁・定価3850円 隠す心理をテーマに、社会心理学・発達心理学・認知心理学・生理心理学・動物心理学の領域から12の話題を厳選し、紙上討論を巻末に収載。心を科学的に探究する面白さへと誘う書。

未来思考の心理学

—予測・計画・達成する心のメカニズム— G. エッティンゲンほか編 後藤崇志, 日道俊之, 小宮あすか, 楠見 孝監訳 A5上製・720頁・定価11000円 目標実現のための心の仕組みを人に固有の「将来を模索し判断する力」を切り口に解説。認知、社会、教育、健康等の分野にも展開。

ドムヤンの学習と行動の原理〔原著第7版〕

M. ドムヤン著 漆原宏次, 坂野雄二監訳 B5上製・424頁・定価7920円 学習心理学の泰斗・ドムヤンによる米国で評判のテキスト、待望の邦訳。行動の誘発、強化、制御、消去、変容に関わる学習の原理、およびその広範な活用について、神経科学の裏づけを加えつつ新たな研究知見を紹介。

障害から始まるイノベーション

—ニーズをシーズにとらえ直す障害学入門— 田中真理, 横田晋務編著 A5・208頁・定価2970円 障害を社会モデルから捉え直し、アクセシビリティを高める支援技術を解説する。さらには福祉社会学や工学、人類学など様々な専門分野からみたユニバーサルデザインの研究知見を紹介。イノベーション創出のヒントを提供。

実践！健康心理学

—シナリオで学ぶ健康増進と疾病予防— 日本健康心理学会編集 A5・208頁・定価2750円 医療・看護、福祉、産業、教育など、多様な人が活用できる健康心理学の「実践ガイド」を提供。まず、シナリオ形式で健康心理学の視点と方法論が役立つ状況を例示し、対応の仕方を解説。次いで、背景理論もしっかりと説明。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ **心理学と仕事** (全20巻) **完結!** シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・148～232頁・定価2200～2530円

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |